

平成30年度 事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

学校法人身延山学園

平成30年度事業報告書 項目

〔1〕法人の概要

1. 設置する学校・学部・学科等

○身延山大学

仏教学部 仏教学科 福祉学科（29年度から募集停止）

○身延山高等学校

普通科

2. 学部・学科等の入学定員、入学者数の状況（平成30年5月現在）

○身延山大学

仏教学部 在籍者数 75 名（新入生合計 21 名）

仏教学科 在籍者数 64 名

新入生 定員 30 名 入学者数 20 名（内編入学者数 6 名）

福祉学科 在籍者数 11 名

新入生 定員 0 名 入学者数 1 名（内編入学者数 1 名）

○身延山高等学校（合計 82 名）

普通科 在籍者数 82 名

新入生 定員 40 名 入学者数 30 名

3. 役員等の人数（平成30年5月現在）

○理事 10 名（うち、理事長 1 名）

監事 2 名

評議員 22 名

4. 教員の人数（平成30年5月現在）

○身延山大学（合計 63 名）

仏教学部 教授 11 名 准教授 4 名 講師 6 名

非常勤教員 42 名

○身延山高等学校（合計 25 名）

普通科 専任教諭 12 名

非常勤講師 13 名

5. 職員の人数（平成30年5月現在）

○身延山学園（法人） 専任 1 名 嘱託 2 名

○身延山大学 専任 13 名 嘱託 2 名

○身延山高等学校 専任 1 名

〔2〕平成30年度の事業の概要

＜当該年度の主な事業の目的・計画＞

◎重点目標

1. 学園

(1)財政の健全化

2. 大学

(1)広報・学生募集の強化

(2)教育・研究の強化

3. 高校

(1)社会で活躍できる人間の育成

(2)学力の向上と進路指導が充実した教育体制の構築

1. 学校法人身延山学園

1. 財政の健全化

(1)収入面

①寄付金 — 本館耐震改修工事への寄付金

207件 18,069千円(30年4月1日～31年3月31日)

学長を中心に本山、宗務院、宗門各寺院、同窓会各支部等への働きかけを行なった。

— それ以外の寄付金 160,304千円

②補助金 — 105,633千円(国庫補助金 58,767千円 県 46,866千円)

国庫補助金・県補助金の対象となる事業を積極的に行い、交付金の増加に努めた。

(2)支出面

各種事業(工事等にかかるもの)の凍結 — 最低限必要な事業のみ行った

2. 身延山大学

〔入試・広報部門〕

1. 入学志願者勧誘

(1)日蓮学専攻・仏教芸術専攻(勧募も兼ねる)

①全国寺院・宗務所・同窓会・同窓会長宅等訪問

訪問先 20 先超 訪問時期 5月～10月 訪問者 5名

②寺院個別訪問における入試広報活動

訪問先 10 先超 訪問時期 5月～翌3月 訪問者 4名

(2)福祉学専攻・仏教芸術専攻

山梨・静岡県内高等学校での入試広報活動

訪問先 70 先超 訪問時期 5月～翌2月 訪問者 10名

(3) 専攻共通

①進路業者主催による進路相談会および出張授業

参加回数 11回 実施時期 5月～翌3月 担当者 5名

②本学リーフレットを近隣の宿坊、お土産店、観光協会などに配布 担当者 2名

③甲斐清和高校進学クラスの大学見学兼オープンキャンパス実施

3月7日(木)、甲斐清和高校2年進学クラス23人の生徒、引率教員3名が来学。

④日本語学校(ユニタス日本語学校)について、指定校推薦入学試験制度を開設し、受け入れ実施に向けて担当者と綿密な打ち合わせを行った。また、新たな留学生の受け入れ態勢の強化(ユニタス日本語学校対象編入学試験制度等)も検討した。

⑤附属高等学校からの入学者確保策として、附属高等学校対象の入試制度や、本学への入学を促進していくために、附属高等学校に特化した学納金免除などの在り方を検討した。

2. オープンキャンパスの実施

オープンキャンパスは随時設定。それ以外に6月23日(土)、7月21日(土)、8月22日(水)、9月17日(月)に特別開催を実施し、4日間で18名の参加があった。

3. 入学者選抜における高・大連携

(1)身延山高等学校における高・大連携

師親会総会(平成30年5月12日)における三者面談において、学部主催による身延山高等学校生徒対象のオープンキャンパスを実施した。当日は、1年生3名、2年生13名の参加があった。また本学への入学希望者に対しては、6月23日(土)、7月21日(土)、8月22日(水)、9月17日(月)に特別開催したオープンキャンパスへの動員を図り、同校より5名(4名日蓮学専攻、1名仏教芸術専攻)の入学者を確保した。

(2)指定校推薦における高・大連携

山梨・静岡を中心に本学のアドミッションポリシーに即した高等学校を指定校とし、当該校から入学を志願する生徒を対象とした入学試験を行った。指定校認定校数は現在169校である。

4. ホームページの改定

ホームページの掲載内容の見直しを行い、新年度の内容を付加した。

5. 入学試験の実施(学科共通)

(1)一般公募制推薦入学試験A — 11月4日

(2)一般公募制推薦入学試験B — 12月2日

(3)一般入学試験A — 2月2日

(4)一般入学試験B — 3月26日

(5)その他 宗門後継者推薦、社会福祉施設後継者推薦、社会人推薦、自己スタイル入学試験、第2、3年次編入学試験を随時実施

〔教学部門〕

1. 学部教育課程

(1) 新入生ガイダンスの実施(入学前)

4月の入学式前に大学生活を送るうえでの全般的な指導

(2) 新入生オリエンテーションの実施(4月)

履修指導、資格関係ガイダンス、久遠寺参拝、仮履修届の作成、学生ポートフォリオの説明、基礎ゼミオリエンテーションの実施

(3) 在校生に対するガイダンスの実施(4月・10月)

履修指導、資格関係ガイダンス、学生ポートフォリオ作成に関する説明

(4) ゼミナール・ガイダンスの実施(12月)

2年生を対象としたゼミナール・ガイダンス

(5) 卒業論文・総合演習説明会の実施(12月)

3年生を対象とした卒業論文及び総合演習に関するガイダンス

(6) 主専攻及び副専攻の説明会の実施(7月)

1年生を対象とした主専攻及び副専攻に関するガイダンス

2. 変動型CAP制の導入について

学生が学力に応じた十分な学修時間を確保するために設けた制度で、学期ごとの成績(GPA)により履修登録可能な単位数を上下する制度(変動型CAP制度)を採用して実施している。この制度の導入により、前学期の成績を意識して履修計画を立てる学生が増えてきている。

3. 教学IRにおける成績分布の調査及び履修指導について

学生の在学中の成績(GPA)をSランクからDランクに分類して多方面から検証し、教育・学習改善及び履修指導を行っている。

4. アカデミックアドバイザー制度の成果

専任教員がアカデミックアドバイザーとして、学生一人ひとりに対し、入学から卒業まで学修全般の指導、助言及び相談を行った。これは効果的な学習を支援することを目的に設置された制度である。特に学修支援対象者には学期当初に指導を行う等、細やかな指導を行っている。

5. オフィスアワーの実施

各教員により週に2時間以上実施。

6. 在校生に対する履修支援ガイダンスの実施

各学年終了時点で単位取得状況が芳しくない学生に個別に履修支援ガイダンスをアカデミックアドバイザーと教職員が一体となり実施し、単位取得状況の改善を促し、履修指導を行っている。

7. 高大連携授業について

身延山高等学校との連携を強めるために、身延山大学において年6回「高大連携授業」を実施している。なお、授業全てに参加し、且つ指定したレポートを提出し、

内容が基準に達した生徒が本学に入学した際に、「高大連携授業の単位認定」として単位が認定される。また、甲府城西高等学校が行っている「上級学校連携講座」に本学からも参加して授業を行っている。これは県立甲府城西高等学校の高大連携授業として認められている。同様に、県立身延高等学校の家庭科の授業の3時間分を連携講座として本学の教員が出前授業を行い、最後の一回は同校生徒が本学に来て実習事業を受講している。

8. 「大学コンソーシアムやまなし」への参加

平成19年度より「大学コンソーシアムやまなし」に参加し、県内大学との単位互換事業などの諸事業に参画している。

9. 山梨県地域未来創造センター「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業への参加

(1) 専門科目「CCRC」部門

横浜市立大学学生・大学院生と本学学生とのPBL型コラボ授業を開催し、身延町に対する廃校利用と門前町の活性化案を作成し、身延町へプレゼンを行った。

(2) 地域教養科目

「山梨県と峡南地域」「身延町の福祉文化」など地元に着目した科目を開講した。特に「山梨県と峡南地域」は3日間にわたりバスツアーを行い、峡南地域(身延町・早川町・南部町・富士川町)の歴史や文化を学んだ。

10. 地域社会との連携

(1) 認知症カフェの実施

(2) 児童館活動の実施

(3) 子どもの学習支援活動の開設

(4) 地域の小中学校へ障がい者の理解に関する体験型出前授業を実施

11. FD・SD研修会開催

(1) 大学教育学会第40回大会参加報告

講師 池田 健太郎 学修支援主任

日時 平成30年6月20日(水) 14:00~15:00

(2) 障がいのある学生への支援

講師 檜木 博之 准教授

日時 平成30年10月31日(水) 14:00~15:00

12. 介護福祉士実務者研修の実施

介護福祉士受験資格を得るための「介護福祉士実務者研修」を実施し、7名の受講者があった。(うち2名は本学学生)

13. 申請及び届出業務について

平成30年度は次の申請・届出業務を行った。

(1) 教職再課程申請

(2) 指定保育士養成施設の変更承認申請

- (3) 介護福祉士学校変更届出書(カリキュラム変更)
- (4) 介護福祉士学校変更届出書(専任教員変更)
- (5) 介護福祉士実務者学校変更届出書
- (6) 大学等確認変更届出書(社会福祉士)
- (7) 一般教育訓練給付金対象講座変更届(実務者研修)

〔学修支援部門〕

1 学生への経済的支援

(1) 奨学金制度の説明

50名超が参加 学内奨学金については支援委員会で検討、学外資金については申請手続きの補助を行なった。(4月)

なお、4月以降も年間を通して、奨学金・学納金についての相談を受けた。

2 健康相談

(1) 定期健康診断の実施

①身体測定(年度当初のガイダンス時 4月)

内容: 身長・体重・視力・血圧

②内科検診(5月)

③各種健診(4月)

内容: 胸部X線間接撮影・心電図・尿検査

受診率 88%

これらの受診結果を基に、学生個々に生活指導を行なうと同時に、メンタルな健康保持のため、面接時に状況を聴取している。

カリキュラム&学修支援委員会のもと学修支援室の職員が主にその担当となる。

〔就職部門〕

(1) 就職ガイダンスと就職セミナーの実施

就職ガイダンス4月、就職セミナー7月、11月、1月の3回実施。延べ80名が参加した。

(2) 就職相談の受付

年間を通して就職支援担当者が相談受付を行っており就職率は高い。30年度の就職率は100%。

〔図書館〕

(1) 図書館ガイダンス(4月)

(2) 防災訓練の実施(火災10月)

(3) 身延山大学教授による講演会の開催(6月)

(4) 図書館図書選定委員会(4月)・図書館運営委員会(4月、3月)

(5) 書道履修学生の作品展開催(11月)

(6) 身延山宝物館・身延山大学図書館合同による展覧会(平成30年度)

(平成30年2月9日～平成30年9月4日)

(7) 身延町・南部町各教育委員会との共催により、身延山学講座の開催(10回)

(8) ラーニング・コモンズ運用中

〔国際日蓮学研究所〕

- 1 資料の蒐集、調査及び研究
 - (1) 韓国東国大学校仏教文化研究院と身延文庫・身延山大学図書館所蔵資料調査（韓国仏教関連典籍）の実施（4月）
 - (2) ラオス世界遺産修復プロジェクトの実施（2～3月）
 - ① 仏像修復事業（塑像1体、木彫仏2体、被災仏像（木彫）2体、鋳造仏1体）
 - ② 仏像修復技術者育成事業（現地美術大学及び学校講師、学生等への技術講習・仏像修復テキスト制作準備）
 - ③ 仏像安置状況・盗難仏像調査（世界遺産地域全35ヶ寺の仏像について現状調査）
 - ④ 仏像修復技法に関する調査・研究（顔料・パタイペット調査）
 - ⑤ 仏像の銘文や造像様式に関する調査
 - ⑥ 仏像の三次元データ化
 - ⑦ 現地スタッフ・学生等を対象としたセミナー・ワークショップの開催
- 2 研究成果の発表及び機関誌の刊行
 - (1) 機関誌『日蓮学』第2号の刊行（10月）
- 3 研究会及び講演会等の開催
 - (1) 例会の開催（年1回）

講師 名和隆乾〈大阪大学〉（5月）
 - (2) 第七十一回 日蓮宗教学研究発表大会の共催（11月）
- 4 その他の事業
 - (1) 機関誌刊行会議（1月）
 - (2) 韓国高麗大蔵経研究所との学術交流会議（2月）
 - (3) 韓国金剛大学校仏教文化研究所との学術交流会議（2月）
 - (4) 仏像修復制作室（柳本伊左雄ユニットリーダー）
 - ① 七面山敬神院修復事業（通年）
 - ② 慈母観音像完成、開眼法要・還座式（8月・仙台市孝勝寺）
 - (5) 所員会議の実施（4月、11月、3月）

3 高校

- 1 学力向上・学習指導の強化について
 - (1) 生徒への手帳指導（PDCA:生徒に毎日手帳を書かせ、教員が手帳指導する）
 - (2) 学習指導の強化（全教職員による班別の学習指導）（定期試験前2週間・年4回）
 - ① 班別による学習計画・実行・評価・改善指導 ② 強化期間中の7時間目授業の設定 ③ 強化期間中の朝テストの実施 ④ ゼミ学習の実施（各期間中8回） ⑤ 放課後の個別学習指導（7校時）の強化 ⑥ 本院寮生夜間の学習指導（18:30～20:00）
 - (3) 放課後の学習会の実施（月・火・金）

自宅通学生への個別学習指導・教科指導等

(4) 検定試験指導

- ①日本漢字能力検定試験の指導（級別指導体制・全教員による指導）
ア 年3回実施 その他漢字模擬試験（6回）の実施 イ 級別指導による漢字学習指導
- ②情報処理検定指導（Microsoft:ワード、エクセルの技能資格）（年2回実施）

(5) その他の活動

- ①放課後読書活動 朝読書週間の実施 ②スピーチ活動（SHR） ③校内弁論大会 ④競技かるた大会（百人一首大会）の実施 年2回

(6) 教師の指導力の向上

- ①年間指導計画の作成 ②シラバス作成と生徒へのガイダンス指導（4月）
- ③指導案授業の実施と授業見学の実施（6月・2月）
- ④職員の技能資質向上 職員研修の実施（年4回）

2 生徒指導

(1) 講演会・教室の実施等

- ①携帯電話利用教室（4月） ②薬物乱用教室（7月） ③交通安全教室（7月）

(2) 登下校指導

- ①JR身延駅前指導（毎月1回） ②乗車指導 JR市川大門駅（年3回）

(3) 防災訓練

- ①避難訓練（4月・7月・9月・12月・3月） ②防災訓練及び救急法・AED講習（中部消防署）（6月） ③下校訓練（6月・3月）

(4) 生徒育成

- ①誓願式（4月）・誓願法要式（6月） ②身延山ルールブックの定着（通年）
- ② 生徒信条（六波羅蜜を毎日SHRで唱和する） ④挨拶指導週間の実施
- ⑤規律指導週間の実施 ⑥教室ロッカー整理期間の実施

3 進路指導

(1) キャリア教育

- ①進学ガイダンスの実施（4月） ②就職ガイダンスの実施（4月） ③就労体験の実施（4月） ④1日看護体験の実施（6月） ⑤面接指導（3学年対象）
- ⑥進路希望調査の実施 ⑦合同就職ガイダンス及び面接練習（7月）

(2) 進路状況 23名

- | | | | | | | |
|-----|-------|----|--------|----|------|----|
| 進 学 | 身延山大学 | 5名 | 他4年制大学 | 3名 | 短期大学 | 1名 |
| | 専門学校 | 6名 | 就 職 | 8名 | | |

4 生徒会活動

(1) 諸行事・部活動

- ①新入生対面式（4月） ②新入生歓迎会（5月） ③体育祭（9月） ④学園祭（10月） ⑤生徒総会（4月） ⑥生徒会役員選挙（12月） ⑦高等学校芸術文化祭総合開会式参加 ⑧高等学校芸術文化祭 各部門（JRC委員会・茶道部・雅楽部） ⑨生徒会挨拶運動

(2) その他の活動

- ①リーダー研修（４月・１２月）

5 その他教育活動

(1) 諸行事

- ①新入生宿泊研修（５月） ②３学年ハワイ修学旅行（５月） ③奥之院登詣（５月） ④新入生霊跡参拝（４月） ⑤校内弁論大会（１０月） ⑥百人一首大会（１月・３月） ⑦卒業生を送る会（２月） ⑧田富みかさ幼稚園交流（１２月・２月） ⑨三者面談（５月・７月）

(2) 身延山久遠寺法要出仕

- ①御聖日出仕 読誦会・御廟参（毎月１３日） ②三大会出仕（釈尊降誕会・開闢会・釈尊涅槃会） ③四大法難会出仕（伊豆法難会・松葉谷法難会・龍口法難会）

(3) 部活動

- ①手話コミュニケーション部
内閣府特命大臣賞受賞
ボランティアアワード賞（風に立つライオン基金）
身延町教育委員会「栄光の記録」賞受賞

6 施設・設備

各学年教室 LED電気工事 IT環境整備（Wi-Fi）

7 同窓会・師親会

(1) 師親会

- ①師親会（PTA）役員会及び師親会（PTA）総会（５月）
②師親会（PTA）講演会（５月）

(2) 学園同窓会

- ①静岡駿河支部同窓会 ②九州支部同窓会 ③山梨県支部同窓会 ④北海道支部同窓会

8 生徒募集活動

(1) 中学校訪問（山梨県・静岡県）

- ①６月・１２月実施 ②身延中学校進路説明会（６月２３日）
③生徒による出身中学校への訪問・広報

(2) 学校説明会

- ①毎月実施（６月・７月・８月・９月・１０月・１１月・１２月）
②中学校教員対象学校説明会の実施（７月１０日）

(3) メディア広報

- ①ホームページの更新 ②みのぶ誌への広告掲載 ③日蓮宗新聞への広告掲載

(4) 平成３０年度入試状況

受験者数：３７名 合格者数：３６名 入学者数：３０名